



1/5 Hirado City Photo News  
防火・防災意識を新たに



平戸文化センターで「令和5年平戸市消防出初式」が開催されました。当日は、消防職員や消防団員など800人が出席。式典前には、文化センター前を市内の各分団員が分列行進。式典では、退職消防団員への消防庁長官表彰伝達など功労者への表彰が行われました。  
式典終了後には、消防車と平戸海上保安署巡視艇が合同で平戸港への一斉放水を実施。黒田市長や森団長などによる服装点検のほか、消防車で車両パレードで火の用心を呼びかけました。

1/1 Hirado City Photo News  
新年祝い元日の海にダイブ



千里ヶ浜海水浴場において、オランダ式新年ダイブが行われました。オランダでは元日に海に入り、健康を願い新年を祝うイベントがあり、その文化を日本に紹介したいと、昨年に続き開催されました。  
今年はオランダ人国際交流員のバオデワイン・ファーレグさんが呼びかけ、A L Tや長崎県立大学の学生など14人が参加。水着にニット帽姿で元日の寒空の下、海に駆け込みました。海から上がった参加者は、オランダ伝統のエンドウ豆のスープで体を温めました。

12/21 Hirado City Photo News  
市立病院存続と医師確保を要望



長崎県庁で、「地域医療及び救急医療を守るための取り組みについて」の要望書を、市立病院の医療圏域である中部、南部、生月地区区長会を代表し、村瀬惣治紐差地区区長会長、石川隆雄生月地区区長会長が、長崎県知事に提出しました。長崎県との意見交換には、両区長会長に同行した黒田市長および西川県議会議員も出席。両区長会長は「住民が安心安全な生活を営むには、市立病院の存続は必須であり、医師不足の解消は最優先課題。積極的な医師確保対策をお願いしたい」と、強く要望しました。

12/19 Hirado City Photo News  
強豪チームとの健闘を誓う



「第8回キャプテン翼CUPかつしか2023」に出場する比良戸FCの選手が、平戸市役所を訪れ黒田市長に大会の意気込みを語りました。この大会は、漫画「キャプテン翼」ゆかりの地などから全24チームが出場しました。  
1月7日に予選リーグが行われ、柴又KIDS(東京都)に2-1、ACミランサッカーアカデミー千葉(千葉県)に6-0で勝利、DV7サッカーアカデミー(東京都)に0-1で惜敗し、惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんでした。

1/8 Hirado City Photo News  
寒空のもと平戸を快走



宮の浦バス停をスタートし、平戸文化センターをゴールとする7区間42kmで競う「第52回平戸縦断駅伝」が開催されました。  
今年は、一般市内の部3チーム、一般フリーの部5チーム、高校の部3チーム、オープンの部4チームが出場。白熱したレースが繰り広げられました。優勝チームは下記のとおりです。  
【一般市内の部】 平戸消防  
【一般フリーの部】 陸自第4施設大隊  
【高校の部】 九州文化学園高等学校

12/22 Hirado City Photo News  
水の大切さを訴え、姉妹で入選



令和4年度「第64回水道週間」懸賞募集において、大島小学校3年の中尾友香さん(図画の部・低学年)と姉で同小6年の中尾文香さん(図画の部・高学年)が全国2位となる「入選」に選ばれた事に伴い、表彰伝達式が行われました。文香さんは、昨年の特選「日本水道協会会長賞」に続き、2年連続の快挙です。  
今年は、全国の児童生徒を対象に、図画・習字・標語・作文の部の懸賞募集が開催され、図画の小学校低学年の部では507点、高学年の部では2,450点の応募がありました。

12/23 Hirado City Photo News  
医療体制の抜本的な見直しへ



地方独立行政法人長崎市立病院機構の調漸副理事長が平戸市病院事業管理者兼生月病院院長の山下雅巳医師と市長室を訪れ、平戸市立病院あり方検討委員会の最終答申を提出しました。  
委員会では、地域で求められる医療提供体制を確保し、安定した経営の下で地域医療や高度医療を継続的に提供できる市立病院のあり方について検討を進めてきました。この答申を踏まえ、令和5年度から、市立病院経営強化プランを策定し、医療提供体制の見直しに取り組んでいきます。